

【基本情報】

クラブ名	FC 岐阜		
活動テーマ	ホームゲームの裏側を知ろう！ グリーنز体験&スタジアム設営		
実施場所	岐阜メモリアルセンター長良川競技場		
活動部署	事業グループ 事業運営チーム		
参加者	箱崎達也	大串昇平	長井結矢
	山口畝良		
活動期間	2025 年 8 月 22 日(金)		

【活動報告詳細】

■活動目的

試合を開催するために必要な準備やどれだけの方々の支えがあるのかを知る機会とし、プロサッカー選手として当たり前ではない、用意された環境に感謝の気持ちを継続して持ち続けるための体験を目的とする。

■活動内容

◇スタジアム設営

試合日のスタジアムに掲出されるパートナーバナーの設置作業をクラブスタッフやボランティアと一緒に担当する。

◇試合当日の配布物準備

入場ゲートで来場者に配る配布物にチラシ(パートナー/市町村 PR 等)封入やプレゼントの袋詰めを試合運営ボランティアの[グリーンズ]の皆さんと担当する。

■選手コメント コメントは各選手につき200文字以上お書きください。

箱崎達也選手

試合運営ボランティアのグリーンズ活動とスタジアム設営をおこないました。グリーンズの活動では、参加者の方と交流をしながらチラシの封入作業を行い、様々な会話をしながら楽しく作業をすることができました。スタジアム設営では、パートナーバナーを設置しました。今回の活動で、普段自分達が行っている試合は様々な方々の協力のもとで成り立っていると再認識することができました。自分達の為にボランティアとして活動してくれていること、暑い中でもスタジアムの設営をして素晴らしいスタジアムの環境を作っていただいていることを理解しながら、ピッチの上でその感謝を返せるように頑張っていきたいと思いました。

大串昇平選手

今回、スタジアム設営に参加し、自分たちが試合をするためには多くの方の協力があって成り立っていると実感しました。

中学生の頃から、ボールパーソンをすることはありましたが、それ以外の部分で試合をするための準備にどれだけの時間がかかっているかは知らなかったです。なんとなくたくさんの方が関わって試合ができていることは知っていたけれど、実際に設営をすることで知らない部分や大変な思いをしていることを知ることができました。試合ができる環境が当たり前ではないことを忘れず、感謝の気持ちを持ちながらこれからの試合に臨みたいと思いました。

長井結矢選手

今回の活動で自分たちが何不自由もなく試合に挑めているのは、地域の方々やボランティアの方、クラブスタッフの方々などの準備や協力があるから成り立っているのだと改めて感じる事が出来ました。自分たちは今回試合の準備を一緒に行いました。チラシなどの封入やパートナーバナーの設営を行いましたが、これだけの作業でも正直大変でした。それを試合の前々日と前日に暑い日も寒い日も関係なくやっている人達がいることを考えると、選手はすごく支えられているなと感じることが出来ました。自分たちはこのような人達に結果で恩返しし、示していかなければいけないと改めて強い覚悟を持つことが出来ました。ただ練習して、試合に挑むのではなく、その中でも常に感謝の気持ちを忘れずにサッカーに取り組んでいきたいと思いました。FC 岐阜は 42 市町村全てがホームタウンです。サッカー以外のボランティアや地域貢献も自分たちは積極的に取り組んで行こうと思いました。自分たちが不自由なくサッカーに取り組んでいるのは、支えてくれている人やサポートしてくれる方々がいるからです。当たり前だとは思ってはいませんが、当たり前にならないように感謝の気持ちを持ってプレーしていきたいと思いました。

山口 畝良選手

グリーンズ活動とスタジアム設営を通じて、自分たちが多くの人たちに支えられている事と、クラブスタッフのみならずボランティアの方や多くのファン・サポーターを含むたくさんの方々の協力があることを感じました。

非常に暑い中、外で嫌な顔ひとつせず、パートナーバナーや看板を準備してくださる方がいたり、スタジアムで配るチラシの準備をしてくださる方など、普段は見ることが出来ない見えないところのサポートを見ることができました。凄く大変な作業であったにも関わらず多くの方が笑顔で自分たちを迎え入れてくれて、親切に指導してくれてとても順調に進めることが出来ました。

試合に出てより良いプレーをして勝利を届けることが 1 番の恩返しになると思うので、そう出来るように頑張ります。

■活動写真



【基本情報】

クラブ名	FC 岐阜		
活動テーマ	真桑小学校 挨拶運動		
実施場所	本巣市立真桑小学校		
協働団体	FC 岐阜	本巣市	本巣市立真桑小学校
参加者	箱崎達也選手	大串昇平選手	山口畝良選手
	長井結矢選手		
活動期間	2025 年 10 月 28 日(火)		

【活動報告詳細】

■活動目的

- ・11 月 9 日「本巣市ホームタウンデー」に向けての告知活動
- ・ファン・サポーター拡大のきっかけづくり
- ・学校・行政・地域と連携する
- ・子どもたちにとって憧れ・模範となる存在になる
- ・地域に支えられていることを実感し、自身も成長できる

■活動内容

- ・一斉下校前の全校集会であいさつ
- ・挨拶の大切さについて話す
- ・FC 岐阜の PR 活動(ホームタウンデー告知 等)
- ・下校時に子どもたちを見送りで、元気にあいさつをする

■選手コメント

■箱崎達也選手

挨拶運動を終えて、真桑小学校の子どもたちや先生と挨拶を交わして触れ合うことで、自分達のことを知ってもらえるきっかけをつくることが出来て良かったです。子どもたちは元気に大きい声で挨拶をしてくれて、小さい頃を思い出しました。初心を忘れずにこれからも元気に挨拶をしていきたいと思いました。

全校放送で挨拶の大切さを伝え、校門で挨拶をすることで子どもたちと話し、試合を見に行くと言ってくれることも多くみんな元気に挨拶をしてくれました。今回の活動で自分達を知ってもらえるきっかけにもなり、挨拶の大切さについて再確認することができました。

■大串昇平選手

今回の活動で、少しでも FC 岐阜を知ってもらえるきっかけになったと思います。

校門に立ち、生徒たちを送るときに「サッカー選手だ」と嬉しそうな表情をみせてくれたり、ハイタッチをしたり、近い距離で接することができ、岐阜県にサッカーチームがあることを知ってもらえたと思います。

また、校内放送で挨拶の大切さを話し、帰りの時に校内放送で話した内容をしっかり覚えていてくれたのか、元気よく挨拶をしてくれてとても嬉しかったです。これからも元気に挨拶することを続けて、大切さを忘れずにほしいなと思いました。

■山口畝良選手

挨拶運動で子どもたちに挨拶の大切さや大事な要素を直接伝えたことで、改めて自分自身ももっと意識して自ら挨拶をしようと思えました。子どもたちが実際に自分たちに目を合わせて元気よく挨拶してくれることでたくさんのエネルギーと元気を貰うことができました。

自分も周りの人や相手に気持ちの良い挨拶をして、元気を与えられるような存在になれるように取り組みたいと思います。

■長井結矢選手

FC 岐阜は岐阜県全体がホームタウンとなっており、そのホームタウンの本巣市の協力のもと真桑小学校にいき挨拶運動をしました。

FC 岐阜の試合告知や、チームとしてのPRを行ってきました。今回の活動を通して、自治体や市町村の協力、サポートがあることや、FC 岐阜を活用し活性化しているのだと感じました。

挨拶の大切さを伝えることや重要性を伝えることはもちろんですが、このような活動を通して、FC 岐阜をもっと知ってもらい、もっと応援してもらえるようPRを行いました。

■活動写真

